

備月江雅心

伊摺太神宮様し由記之雅文

合向格子と切箱哉より一か

利足来書し一か方也并

至り也よ江所迄行ら

太神宮様し江写家

為りてあり

壬辰年

甲子年

卯極月八日

江来書

書向

白米多御為様

江御為様

